



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

平成30年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

本学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、分離・独立し近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体とする「学校法人近畿大学弘徳学園」を設立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、3つの学校を経営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設しました。

本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園を運営する学園となり、平成26年4月に保育園を開園し、幼保連携型認定こども園を開設。平成27年度からは、新制度の幼保連携型認定こども園に移行しました。

平成28年4月1日から、法人名を「学校法人弘徳学園」へ、大学及び短期大学もそれぞれ「姫路大学」、「豊岡短期大学」に名称を変更し、この名称変更に伴い、豊岡キャンパスに設置していた法人本部を、姫路キャンパスに移しました。

そして、平成28年8月に文部科学省より、「姫路大学大学院看護学研究科」の設置認可を受け、平成29年4月に姫路大学に大学院看護学研究科を開設しました。

さらに、姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻課程変更の認可申請を行い、博士後期課程を設置する計画です。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」

第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」

第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」

第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」

第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

平成30年度予算編成における基本方針とその概要について

平成29年12月 1日

弘徳学園 法人本部

○平成30年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、平成30年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内に抑えることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

加えて、姫路大学大学院開設後の設置計画の履行が求められておりますので、この設置計画に基づく予算編成となります。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本とする
- 物品調達等の重要性及び必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を基本とする

(2) 主な事業の目的・計画等

① 平成30年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別 表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
30- 1	姫路大学	姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻課程変更の認可申請 (博士後期課程)	7,990
30- 2	姫路大学	姫路大学看護師等国家試験対策	8,998
30- 3	姫路大学	姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	2,436
30- 4	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営及び遠征業務委託	15,000
30- 5	姫路大学	姫路大学テニスコート照明新設工事	4,767
30- 6	姫路大学	姫路大学看護学部助産師課程の演習器具の整備	3,564
30- 7	豊岡短期大学	豊岡短期大学通信教育部教務システムの改修	5,589
30- 8	姫路大学	姫路大学通信教育課程教務システムの改修	2,592
30- 9	豊岡短期大学	平成30年度豊岡短期大学公開講座の実施	3,340
30- 10	姫路大学	人文学・人権教育研究所 学術雑誌『翰苑』発行	2,021
30- 11	豊岡短期大学	豊岡短期大学「和花季ひろば」の開催	950
30- 12	姫路大学	姫路大学兵庫県下大学長会議当番校に伴う運営	910
30- 13	豊岡短期大学	豊岡短期大学 高圧設備機器不良 第2期修繕 (全5期の2)	1,000
30- 14	豊岡短期大学	豊岡短期大学和花季会館多目的ホール空調機整備工事	1,038
30- 15	法人本部	人事給与サーバ移設	1,771
30- 16	法人本部	経理・財務部及び管理部業務用サーバ入替(ACOffice)	2,667
30- 17	姫路大学	姫路大学1号棟講義室プロジェクターの入替	5,154
30- 18	豊岡短期大学	豊岡短期大学 災害備蓄品入替	805
30- 19	姫路大学	姫路大学教職員用PCの入替	4,000
30- 20	姫路大学	姫路大学 各種イベント参加	500
30- 21	豊岡短期大学	豊岡短期大学「こどもフェスタ2018」の実施	343
30- 22	姫路大学	人文学・人権教育研究所 学術講座	255
30- 23	姫路大学	人文学・人権教育研究所 講演会またはシンポジウム	345
30- 24	豊岡短期大学	豊岡短期大学特別推薦入学試験 (保育士・教職特待奨学生B)	366
事業合計			76,401

② 平成30年度事業計画に係る主な事業の概要説明

- (30-1) 姫路大学大学院看護学研究科看護学専攻課程変更の認可申請（博士後期課程）
文部科学省より、平成28年8月に認可を受け、平成29年度に姫路大学大学院看護学研究科修士課程を開設しました。
さらに、人間に関する高い学識をもち、人々のQOLを重視した看護のあり方の探究と、その向上にむけた支援の考究を自立して行うことができ、看護学の発展に寄与できる教育・研究者を育成することを目的として、博士後期課程への変更認可申請を行い、備品及び図書等の開設準備を進めます。
- (30-4) 姫路大学硬式庭球部運営及び遠征業務委託
今年度も引き続き、育成選手の更なる強化を図るため、姫路大学硬式庭球部の運営業務と海外を含めた国内外の大会へ出場する遠征業務を委託する計画です。
- (30-5) 姫路大学テニスコート照明新設工事
世界に通用する人材の育成を目指し、姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れております。平成29年度には関西学生リーグ1部昇格を成し遂げました。
このたび、選手のさらなる練習時間を確保するために、照明設備を取付けて夜間の練習環境も整える計画です。
- (30-12) 姫路大学兵庫県下大学長会議当番校に伴う運営
昭和32年度より毎年、兵庫県下の大学長が集まり開催されている、兵庫県下大学長会議の当番校として、大学運営等に関する会議の開催を執り行います。
- (30-15) 人事給与サーバ移設
法人本部の豊岡から姫路への移設に伴い、現在豊岡に設置されている人事給与サーバの姫路移設を行います。
- (30-16) 経理・財務部及び管理部業務用サーバ入替
経理財務及び資産管理業務用システムのサーバに係る製品保守期間終了に伴い、今後の故障等リスク回避のため新しくサーバの入替を行う計画です。
- (30-20) 姫路大学 各種イベント参加
姫路大学の知名度を向上するため、学生と教職員共同で姫路市を中心としたイベントに参画します。

>>施設設備等に関する主な事業

姫路大学整備関係事業

- (30-6) 姫路大学看護学部助産師課程の演習器具の整備
臨地実習施設においては、移動式分娩台が主流であるため、助産診断・技術論演習等の演習授業や学生の自主的なトレーニングを効率よく行うため、可動式分娩台を設置する計画です。
- (30-8) 姫路大学通信教育課程教務システムの改修
教育職員免許法及び同施行規則の改正に伴うカリキュラム等の変更に対応し、現行システムを改修する計画です。
また、学生サービス向上の観点から、システムのオープン化を進め、対応ブラウザについても対応範囲を広げる計画です。
- (30-17) 姫路大学1号棟講義室プロジェクターの入替
現在使用しているプロジェクターは開学当初より使用しており、経年劣化等に伴う不具合が発生しているため、1号棟の3講義室のプロジェクターを入替する計画です。
- (30-19) 姫路大学教職員用PCの入替
現在使用しているPCのOSサポート終了に伴い、今後予想される情報漏えい等の危険回避のため、2か年計画でPC入替を行う計画です。

豊岡短期大学整備事業

- (30-7) 豊岡短期大学通信教育部教務システムの改修
教育職員免許法及び同施行規則の改正や制度変更に対応するべく、現行の教務システムを改修する計画です。
さらに学習効果の向上、教育の質保証（学士力）及びアカウンタビリティを果たすために、ルーブリック評価導入検討に伴うシステム調査等を実施します。
- (30-13) 豊岡短期大学高圧設備機器不良 第2期修繕(全5期の2)事業
豊岡短期大学の高圧電気設備は、30年以上使用し経年劣化が激しく、危険な状態にあるため、設備入替の修繕計画を5期に分け、今年度は第2期工事を行う計画です。
- (30-14) 豊岡短期大学和花季会館多目的ホール空調機整備工事
豊岡短期大学和花季会館多目的ホールの空調は、経年劣化に伴い冷暖房とも不具合が発生しており、本年度は部品の交換等を行い環境整備を行う計画です。

>>学生のキャリア支援に関する主な事業

(30-2) 姫路大学看護師等国家試験対策

看護学部における国家試験（看護師、保健師、助産師）対策は、最重要な事業であるため、集中講義ゼミや模擬試験などをきめ細かに行うとともに、学生の学習進度に応じて、補講や個人指導なども加えて、国家試験対策を支援していく計画です。

(30-3) 姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援

教育学部における重要な事業として、教員採用試験対策を行う計画です。教員採用試験対策講座（筆記試験対策）の開講や面接指導、模擬授業指導など本試験を見据えた内容で、きめ細かに学生支援を行う計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減の観点により、昨年度に引き続き交通費の補助を行う計画です。

(30-24) 豊岡短期大学特別推薦入学試験（保育士・教職特待奨学生B）

児童養護施設に入所している将来保育者を目指す受験生を対象とし、入学検定料、入学金、授業料、実習履修費、テキスト代等を免除することで、経済的に大学進学及び保育者への道を支援する入試制度を計画しています。

>>学術・研究関連事業

姫路大学「人文学・人権教育研究所」の活動計画

姫路大学「人文学・人権教育研究所」では、学術雑誌の発行、学術講座及び実技参加型のワークショップ等を開講しています。

- (30-10) 学術雑誌：学術雑誌「翰苑」は、年2回発行し、書店にて一般販売をしています。
- (30-22) 学術講座：一般の市民を対象とした学術講座「唱歌・童謡をひもとく
- (30-23) II 童謡編」、「源氏物語を読む会」など、本年度は9つの講座を開講する計画です。
- 人文学と人権に関する教育講演会、公開講座などを開催し、研究成果を広く公開して地域貢献をおこなう計画です。
- 実技参加型研修プログラムとしての、ワークショップも開講予定です。

>>地域貢献等を目的とする主な事業

(30-9) 平成30年度豊岡短期大学公開講座の実施

豊岡短期大学では毎年公開講座を開催しており、本年度も、著名な音楽家を招き、音楽リサイタルを開催する計画です。

また、パソコン講座についても、ワード（ワープロ基本操作）とエクセル（表計算基本操作）講座を開講する計画です。

毎年、本学の学生はボランティアで参加し、公開講座の開催を支えています。

(30-11) 豊岡短期大学「和花季ひろば」の開催

豊岡短期大学では、異世代間交流及び地産地消を通しての地域貢献を目指し、短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば 育ちあいの仲間づくり」と但馬・丹後地域の魅力ある『食』と『地産地消』をテーマに「和花季ひろば 食のフェア」を今年度も計画しています。

(30-21) 豊岡短期大学「こどもフェスタ2018」の実施

豊岡短期大学の特色である実践的な幼児教育に関する取り組みを広く社会に提供する機会を設け、地域住民との交流を通して、これからの次代を担う優れた人材の養成及び地域の子育て支援に貢献することを目的に、本年度も地域のこどもを集めて「こどもフェスタ」を開催し学習成果の発信を行う計画です。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学サポートを行っています。
- ・ 認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
新しい機能的な園舎にて、地域子育て支援事業、スクーリング預かり保育等の子育てに関する支援事業を行う予定です。

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

姫路大学教育学部 学科改編（通学・通信）構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H30年度予算	H29年度予算(補正)	増 減	参考値(H28年度決算)	平成30年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,006,173	2,185,850	△179,677	2,615,637	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	49,384	58,621	△9,237	61,550	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	11,000	△11,000	0	
補助金収入	462,426	381,439	80,987	408,678	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	1	△1	0	
付随事業・収益事業収入	12,175	12,275	△100	17,229	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	43	43	0	82	・受取利息
雑収入	10,798	31,188	△20,390	27,316	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	338,492	338,262	230	433,350	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	50,883	48,215	2,668	51,298	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△338,269	△452,124	113,855	△558,434	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,466,625	1,726,763	△260,138	2,595,673	・前年度末の現金預金
収入の部合計	4,058,730	4,341,533	△282,803	5,652,380	

支出の部	H30年度予算	H29年度予算(補正)	増 減	参考値(H28年度決算)	平成30年度予算概要
人件費支出	1,869,260	1,865,696	3,564	1,866,302	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	697,489	654,820	42,669	757,256	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	268,507	281,823	△13,316	368,979	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	4,767	0	4,767	6,252	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	32,578	25,346	7,232	254,775	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	131,358	135,252	△3,894	784,487	・前期末未払金の支払等
予備費	20,000	20,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△103,292	△108,029	4,737	△112,435	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,138,063	1,466,625	△328,562	1,726,763	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	4,058,730	4,341,533	△282,803	5,652,380	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	H30年度予算	H29年度予算(補正)	増 減	参考値(H28年度決算)	平成30年度予算概要
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	2,006,173	2,185,850	△179,677	2,615,637	・授業料、入学金、実習料等の納付金
		手数料	49,384	58,621	△9,237	61,550	・入学検定料等の手数料
		寄付金	0	11,255	△11,255	1,149	
		経常費等補助金	462,426	381,439	80,987	408,678	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
		付随事業収入	12,175	12,275	△100	17,229	・補助活動収入他
		雑収入	10,798	31,186	△20,388	27,155	・コピー代等その他の収入
		教育活動収入計	2,540,956	2,680,626	△139,670	3,131,398	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
教育活動支出の部	事業活動支出	人件費	1,903,425	1,880,098	23,327	1,884,704	・本俸他、退職給与引当金繰入額
		教育研究経費	971,979	927,545	44,434	1,009,549	・教材等教育研究経費及び減価償却
		管理経費	311,077	324,393	△13,316	410,446	・教研費以外の管理経費と減価償却
		徴収不能額等	0	0	0	0	
		教育活動支出計	3,186,481	3,132,036	54,445	3,304,699	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
		教育活動収支差額	△645,525	△451,410	△194,115	△173,301	教育活動における事業活動収入と支出の差額
教育活動外収入の部	事業活動外収入	受取利息・配当金	43	43	0	82	・預金利息他
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	43	43	0	82	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
		教育活動外収支差額	43	43	0	82	財務活動における事業活動収入と支出の差額
教育活動外支出の部	事業活動外支出	借入金等利息	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
		教育活動外収支差額	43	43	0	82	財務活動における事業活動収入と支出の差額
経常収支差額		△645,482	△451,367	△194,115	△173,219	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額	
特別収入の部	事業活動	資産売却差額	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	967	△967	16,637	
		特別収入計	0	967	△967	16,637	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入
		特別収支差額	△147	876	△1,023	△21,068	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額
特別支出の部	事業活動	資産処分差額	147	91	56	36,912	
		その他の特別支出	0	0	0	794	
		特別支出計	147	91	56	37,705	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出
		特別収支差額	△147	876	△1,023	△21,068	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額
〔予備費〕		20,000	20,000	0			
基本金組入前当年度収支差額		△665,629	△470,491	△195,138	△194,287	◎事業活動収入と支出の差額と等しい	
基本金組入額合計		△35,875	△25,402	△10,473	△857,287	・第1号基本金及び第4号基本金	
当年度収支差額		△701,504	△495,893	△205,611	△1,051,574		
前年度繰越収支差額		△2,416,098	△1,920,205	△495,893	△868,632		
基本金取崩額		0	0	0	0		
翌年度繰越収支差額		△3,117,602	△2,416,098	△701,504	△1,920,205		

(参考)

事業活動収入計	2,540,999	2,681,636	△140,637	3,148,117	
事業活動支出計	3,206,628	3,152,127	54,501	3,342,404	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 事業活動収支とは

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度決算より「消費収支予算書」から様式を変更して作成することとなった予算書が、「事業活動収支予算書」です。この、事業活動収支は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入とし、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を、事業活動支出として、事業活動区分ごとの収入と支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることを目的として作成するものです。事業活動の区分は、経常収支と特別収支に区分され、経常収支は、教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と教育活動外収支（経常的な財務活動等）で構成され、特別収支は、特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支を計上することになっています。

事業活動区分ごと… 教育活動収支と教育活動外収支の経常収支と前記以外の特別収支の区分

③ 予算概要の説明

資金収支予算について

平成30年度資金収支予算は、平成29年度予算及び平成28年度決算に比べて、予算規模を圧縮しております。

<収入予算>

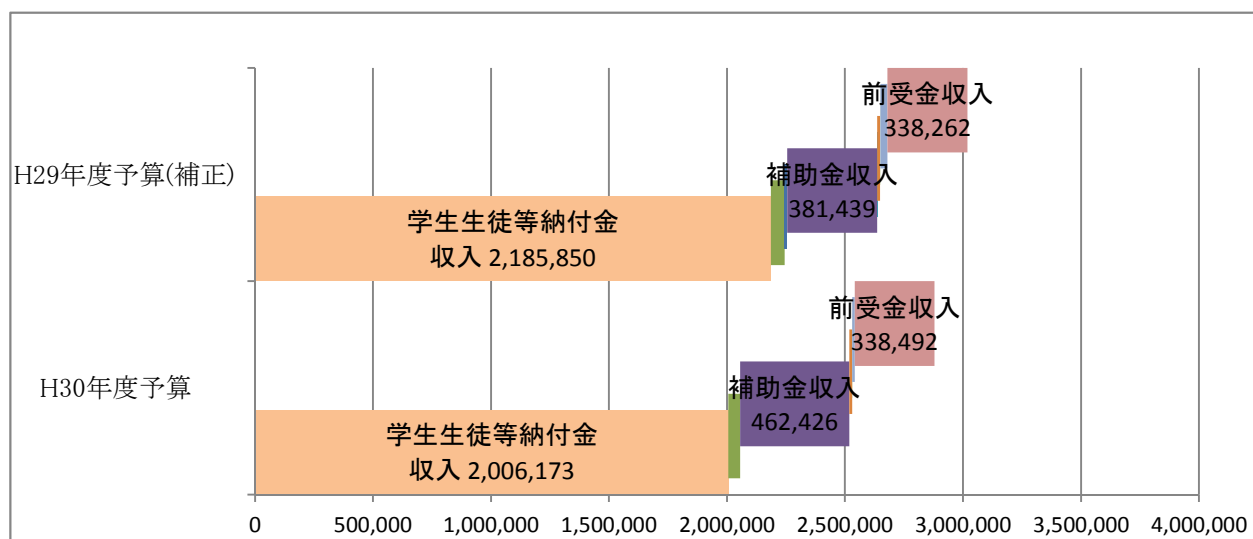
在籍学生数等の減少により、前年度予算から学生生徒等納付金 約1億8千万円の減少をはじめ、収入全体が減少しています。

<支出予算>

教材・テキスト・国試対策などの教育研究経費に重点をおき、加えて経年劣化と老朽化による施設・設備等の更新や修繕経費を見積もりして、支出予算として計上しています。

よって平成30年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は、平成28年度決算から約5億8千9百万円の減少、前年度予算から約3億2千9百万円の減少が見込まれ、11億3千8百万円となります。

資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

事業活動収支予算書について

平成30年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、△6億4千5百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、約△6億6千6百万円の赤字となる予測です。

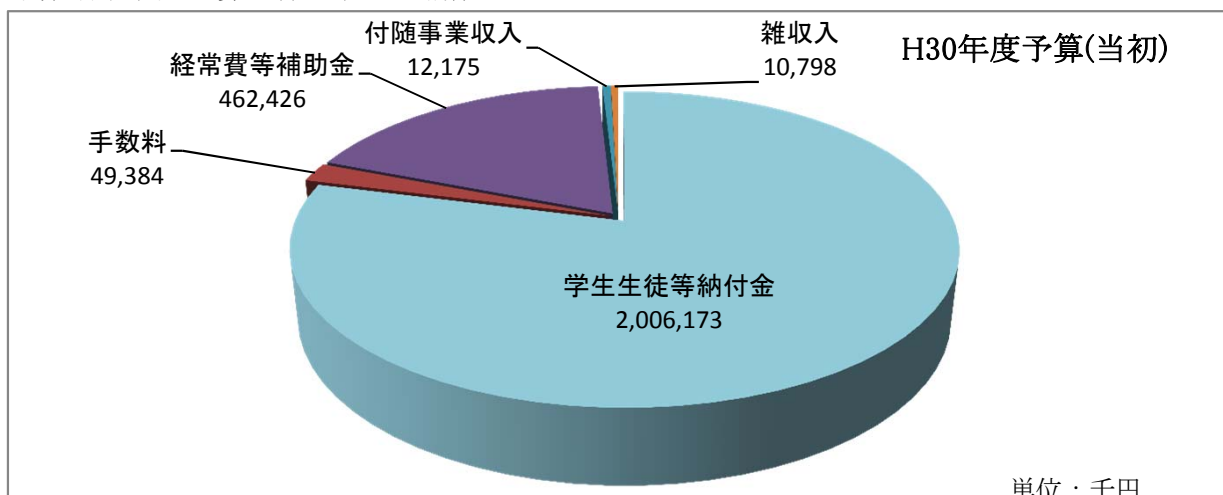
事業活動収支差額に基本金を組入した当年度収支差額も赤字で、約△7億2百万円となり、前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、約△31億1千8百万円の累積赤字となる予測です。

平成26年度決算までは、単年度の収支差額は黒字であったため、翌年度繰越収支差額いわゆる累積赤字を順調に圧縮してきましたが、平成27年度からは、姫路大学新2号棟建築の大型設備投資の支払計画等により、経費の増加と基本金の組入額が大きく、また、平成28年度からは、在籍学生数の減少により収入も減少したため、単年度の赤字に加えて、累積赤字も大きく増加しています。

平成30年度予算でも、在籍学生数の見込みが減少するため、累積赤字を圧縮できない予測ですが、定員の充足に努め、安定的な収入の獲得を図り、更なる冗費の削減なども行い、累積赤字の圧縮に努めます。

構成図①

事業活動収支予算に係る収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

